

優 秀 賞

青い海耳をすませばサラサラと入道雲はひっそりもくもく

城山小四年 犬飼 真子

「選者のことば」

サラサラは波の音でしょうか、それとも砂の音かな。海を見ているとなんか心地よい音が聞こえてくる。ところが、目線を少し上げると怪しい入道雲が静かにもくもくと湧き上がってくるのが見える。さあ、どうしよう。「サラサラ」と「もくもく」が活きた歌になりました。

ひまわりといっしょにそだつわたしたち たいようのしたなかよくしよう

旭丘小三年 川口 鏡花

「選者のことば」

ひまわりは尾張旭市の「市の花」にせいていされています。クラスみんなで学校のかだんに植えたのかな。たいようの下でひまわりのようにまっすぐ上を向いて育って、みんな仲よくしようという思いが伝わってきました。「いっしょにそだつ」っていいことばですね。

課題曲軽々こなす先輩に追いつきたいと練習する夏

東中一年 横田 詩織

「選者のことば」

この猛暑の中、秋の演奏会に向けて課題曲を練習している様子が伺えます。先輩にしっかり教えてもらって「追いつけ、追い越せ」でがんばろう。楽器名を歌の中に入れると、具体的になってもっと良かったと思います。